

平塚地域事務所で勉強会



(勉強会風景～個別指導)



(鋭い質問をする学生)



(個別の力量に合わせた指導)

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平一陸尉）は、8月24日（月）～26日（水）までの3日間、高校、大学生等、一般の各種自衛隊受験予定者を対象にした夏季受験勉強会を行った。本勉強会は、事務所の要望に共感した平塚自衛隊募集相談員会長（大貝憲三氏）が「自衛隊の各種受験者を対象に勉強会を開催し、多くの合格者を輩出しよう」と呼びかけ、自衛隊を支援する「日本の将来を考える神奈川教師の集い」に所属する平塚市在住の現役教師1名を含む4名が賛同し開催することになったものである。当勉強会には、各種自衛隊受験者（3日間で累計62名）が参加し、過去の試験問題を参考に自分の不得意とする科目の問題を質問するという形式で行われた。

参加者からは、「何としても自衛隊に入り、日本はもとより世界の人人々の役に立ちたい。今回勉強会を開催していただき大変ありがたい。これから更に勉強し、合格して皆さんの期待に応えたい」との声も聞かれた。

指導にあたった先生からは、「我々もこれまでの経験を生かし自衛隊に協力できることは大変嬉しい事であり、今後も継続してやっていきたい」との話があった。

平塚地域事務所では、「自衛隊の活動及び募集重要性を理解していただき、勉強会を開催できたことは大変うれishi事であり、今後とも教師の会等の協力を得て、自衛隊を志願してくれる多くの若者を合格させたい」としている。

防災フェスタ2015 in ラゾーナ川崎プラザに参加

神奈川地方協力本部川崎出張所（所長 縣一陸尉）は、8月28日（金）、ラゾーナ川崎プラザにおいて開催された防災フェスタ2015に参加し、災害派遣写真パネル展示、非常用糧食展示及びびっこ迷彩服試着コーナーによる一般広報を行った。

当日の天候は小雨ではあったが、会場には大勢の人が来場し、自衛隊ブースにも多数の家族連れの方々が訪れ、災害派遣写真パネルや非常用糧食を興味深く見学していた。また、写真撮影コーナーでは、迷彩服を試着しての撮影に人気が集まり行列ができるほどの盛況を見せ、参加者は笑顔で撮影を行っていた。

川崎出張所は、「今後も、市民と一体化を図る広報活動に全力で取り組んでいきたい」としている。



迷彩服試着に訪れた親子